



平成28年度 知的財産権制度活用優良企業等表彰

知財功労賞 経済産業大臣表彰

特許活用優良企業

旭硝子株式会社

代表取締役社長執行役員 島村 琢哉

会社概要

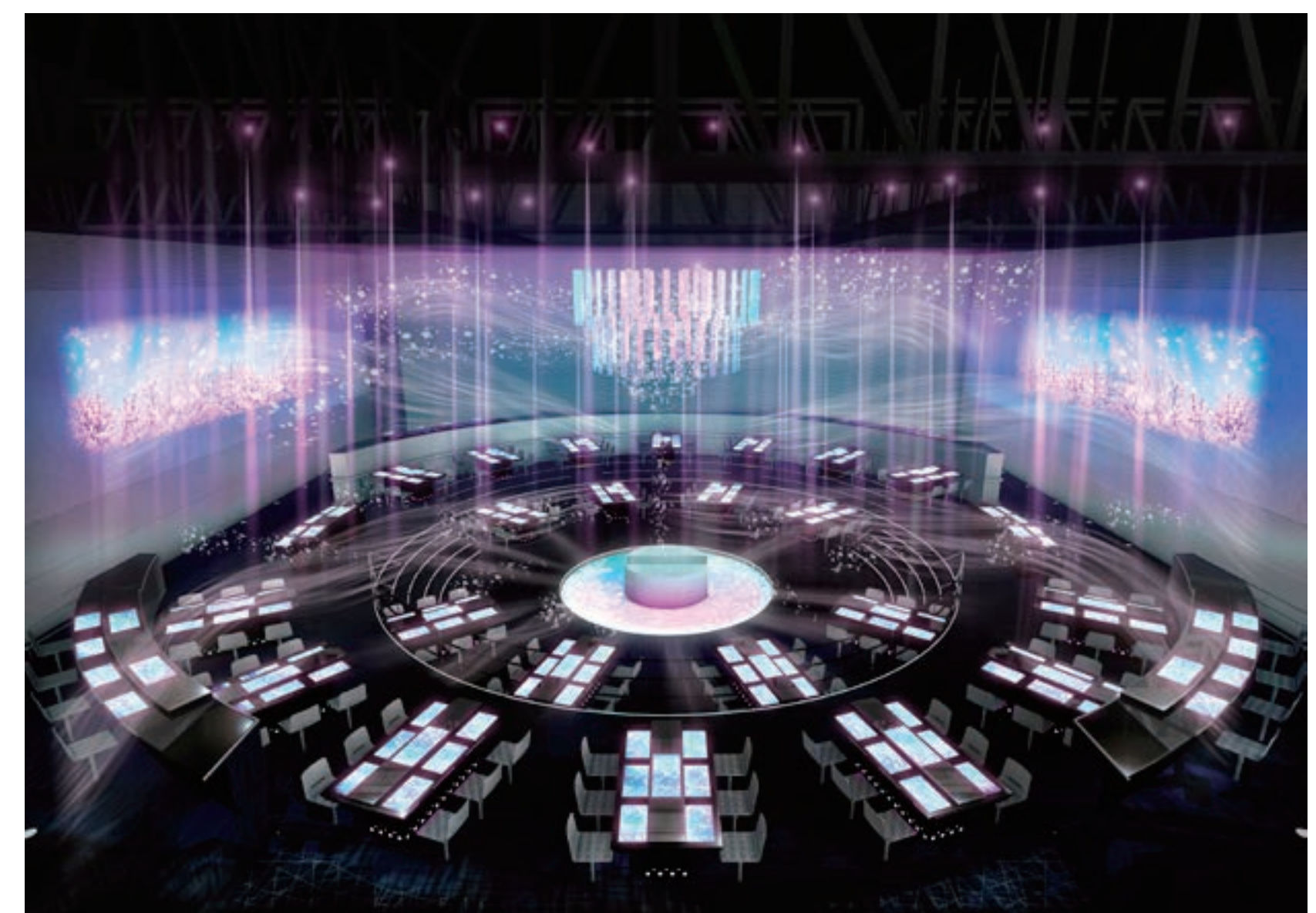
<http://www.agc.com/index2.html>

所在地	東京都千代田区丸の内1-5-1
設立	1950年6月1日(創立1907年)
資本金	90,873百万円(2015年12月末現在)
従業員	5,973人(同上)
事業内容	板ガラス事業、自動車ガラス事業、ディスプレイ事業、電子部材事業、化学品事業、 先進機能ガラス事業、セラミックス事業



受賞のポイント

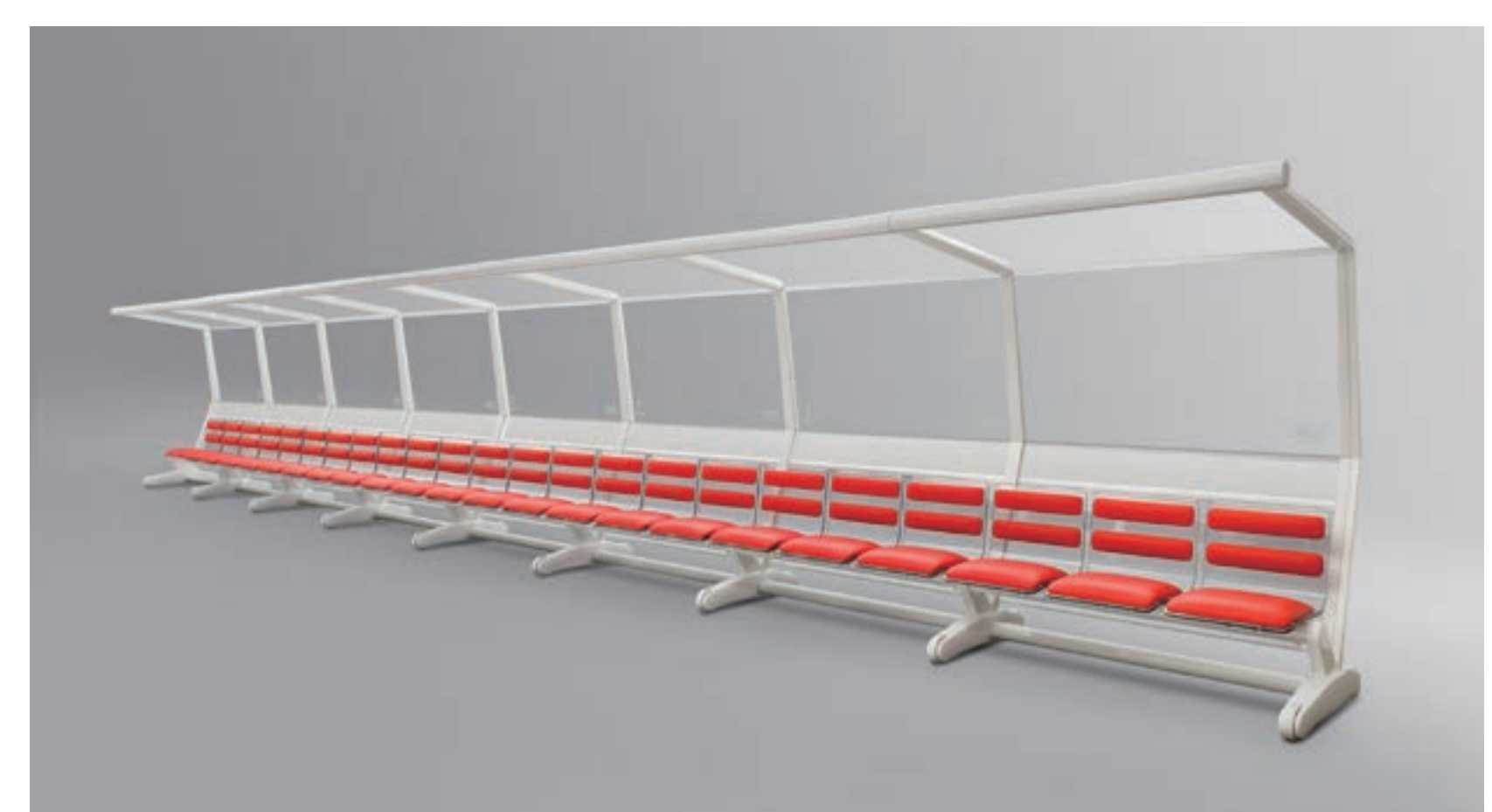
- 知的財産を事業戦略の重要な資源かつツールと位置づけ、経営トップに知財活動方針を報告。事業に貢献する知財の取得とグローバル戦略を意識しながら、事業部門-開発部門-知財部門が協議のうえで出願戦略を決定。近年、事業戦略及び知財戦略を強化するため、戦略的標準化に取り組む組織を知的財産部に新設し、全社を挙げてオープン・クローズ戦略を推進。
- リスクマネジメント基本方針に特許侵害リスクや技術情報漏洩リスクを含め、その管理状況を評価し経営会議や取締役会に報告・審議。グループ全体の従業員の配置が見える化した人材データベース「スキルマップ」の専門分野の一つに知的財産を設け、国別に行う知財スキルネットワーク活動で知財活動と知財人材育成を組織横断的に取り組んでいる。
- FIFA W杯ブラジル大会では、BtoB企業で初めてブランドライセンス権を取得し、世界初の競技者用ベンチ向けガラスルーフを供給し、その材料として採用した「Dragontrail® X」の優れた強度特性をアピール。2015年には、北陸新幹線のすべての車両に鉄道用安全ガラスを搭載、ミラノ国際博覧会の日本館に各種ガラス素材を提供するなど、グローバルブランディングプロジェクトを強力に推進。



ミラノ博日本館のデジタルサイネージを応用した映像が表示される「メディアテーブル」



超軽量ソーラーパネル等に採用されている化学強化特殊ガラス「Leoflex®」



FIFA W杯ブラジル大会に供給した「競技者用ベンチ向けガラスルーフ」